



取扱説明書

保証書付

家庭用

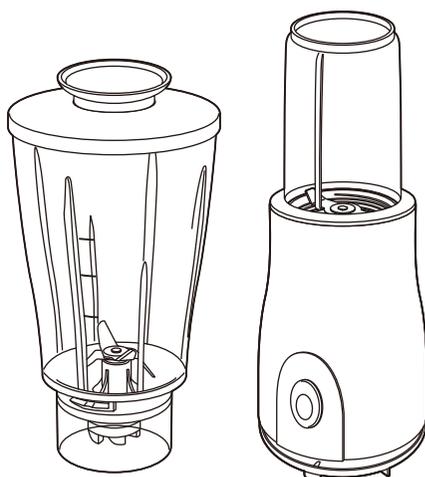
- 業務用としてご使用にならないでください。
- 他の用途でご使用にならないでください。
思わぬ事故の原因になります。

ミルミキサー

YMB-401

も く じ

安全上のご注意	1~3
必ずお守りください	3~4
各部の名称	4
使いかた	5~7
調理例	7~8
お手入れと保管	8~9
仕様	9
故障かな?と思ったら	10
アフターサービスについて	10
保証書	裏表紙



この商品は、海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

- このたびは、弊社ミルミキサーをお買い上げいただきまして誠にありがとうございました。
- ご使用前に、この取扱説明書を必ずよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- お読みになったあとは、大切に保管してください。

安全上のご注意

ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、必ずお守りください。

※ここに示した項目は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。また、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 **警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、軽傷や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

 ①記号は禁止「してはいけないこと」を表示しています。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

 ②記号は強制「しなければいけないこと」を表示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

※お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

警告

 **交流100V以外での使用、コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしない**
●延長コードやタコ足配線などでコンセントや配線器具の定格を超えると発熱・火災の原因になります。

 **分解、修理、改造をしない**
●けが・感電・火災の原因になります。
※修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。

 **電源コードや電源プラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない**
●ショート・感電・火災の原因になります。

 **異臭、異常、破損、故障があるときは直ちに使用を中止する**
指示に従う ●けが・感電・火災の原因になります。
※異常・故障例
10ページの「点検のお願い こんな症状はありませんか?」を参照し、異常がある場合は、直ちにご使用を中止し電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。

 **電源プラグは、根元まで確実に差し込む**
指示に従う ●発煙・感電・火災の原因になります。

 **定期的に電源プラグのほこりをふき取る**
指示に従う ●電源プラグにほこりなどがたまと湿気などで絶縁不良となり、ショート・火災の原因になります。
◎電源プラグのほこりは、乾いたふきんでふき取る。

 **使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く**
プラグを抜く ●けが・感電・漏電火災の原因になります。

 **容器、容器ホルダー、ふたの取りつけや取りはずし、お手入れのときは必ず電源プラグをコンセントから抜く**
プラグを抜く ●けが・感電の原因になります。

 **ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない**
ぬれ手禁止 ●感電の原因になります。

警告



禁止

電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり引っ張ったり、たばねて使用しない
●ショート・感電・火災の原因になります。
◎結束バンドは必ずはずす。



禁止

安全スイッチを指や細い棒などで押さない
●不意に動作して、故障・けがの原因になります。



禁止

すき間や開口部にピンや針金などの異物を入れない
●故障・感電の原因になります。



接触禁止

カッターは、鋭利なので直接手で触れない
●けがの原因になります。



禁止

運転が完全に停止するまでは、容器の中に指、スプーン、箸など食材以外のものを入れない
●故障・けがの原因になります。



禁止

お子さまや取り扱いに不慣れな方だけで使用しない
乳幼児の手の届く場所で使用したり保管しない
●けが・感電の原因になります。



水ぬれ禁止

本体を水に入れたり、水をかけたり丸洗いをしない
●故障・ショート・感電の原因になります。



禁止

電源コードの上に重いものや本体をのせたり、挟み込まない
●電源コードが破損し、ショート・感電・火災の原因になります。



禁止

コード巻きに電源コードを巻きつけた状態で使用しない
●電源コードが異常発熱したり、破損してショート・火災の原因になります。
◎コード巻きに電源コードを強く巻きつけない。



禁止

食材を調理する以外の目的で使用しない
●故障・けがの原因になります。



禁止

カッターを露出したまま運転しない
回転中のカッターは、危険なので絶対に触れない
●けがの原因になります。



禁止

運転中に注ぎ口キャップ、ふた、容器容器ホルダーの取りはずしをしない
●食材がこぼれたり、故障・けがの原因になります。



指示に従う

調理物を容器から取り出すときやお手入れのときは、カッターに注意する
●けがの原因になります。



指示に従う

包装用ポリ袋は、お子さまの手の届かない場所に保管する
●誤って顔にかぶつたり、巻きついたりして窒息する原因になります。

注意



禁止

電源コードを引っ張って電源プラグを抜かない
●ショート・感電・発火の原因になります。
◎必ず電源プラグを持って引き抜く。



禁止

定格時間1分以上の連続運転はおこなわない
続けて運転する場合は、必ず30分間以上休ませてから運転する
(1分間運転ごとに30分間以上休止)
●故障や安全装置がはたらき運転できなくなる原因になります。



禁止

電源コードを持って本体を引っ張らない
●設置場所が傷ついたり、ショート・感電・発火の原因になります。



指示に従う

運転が完全に停止したのを確認してから電源プラグを抜き差しする
●故障・けがの原因になります。



禁止

業務用に使用しない
(本製品は一般家庭用)
●本製品に無理な負担がかかり、破損・故障の原因になります。

⚠ 注意

 <p>次のような場所で使用しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●変質・変形・発火の原因になります。 ●火気（コンロやストーブ）など熱源の近くや直射日光のあたる所 ●高温（40℃以上）になる所 ●厨房や工場などの油や油煙が発生する所 ●ほこりや金属粉の多い所 ●灯油・ガソリン・シンナー・ベンジン・塗料などの引火性のものがある所 <p>禁止</p>	 <p>安定した水平な場所で使用する</p> <ul style="list-style-type: none"> ●落下や転倒して、破損・故障・けがの原因になります。 <p>指示に従う</p>
 <p>40℃以上の食材を入れない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●変色・変形の原因になります。 <p>禁止</p>	 <p>水しぶきや蒸気が直接本体にかかる場所、湿気の多い場所で使用しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●故障・ショート・感電の原因になります。 <p>水ぬれ禁止</p>
 <p>容器、容器ホルダー、ふたは確実に取りつけ、本体を手でしっかり支えて運転する</p> <ul style="list-style-type: none"> ●故障・けがの原因になります。 <p>指示に従う</p>	 <p>容器、容器ホルダー、ふたを取りつけていない状態で運転しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●故障・けがの原因になります。 ◎容器、容器ホルダー、ふたを確実に取りつけ、食材を入れてから運転する。 <p>禁止</p>
 <p>食材が多すぎるなどで、うるような運転音がしたり、カッターの回転が遅かったり、止まったときは、直ちに運転を停止する</p> <ul style="list-style-type: none"> ●故障・けがの原因になります。 <p>指示に従う</p>	 <p>カラ運転や極端に少ない食材で運転しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●故障・けがの原因になります。 <p>禁止</p>
 <p>持ち運ぶときは、本体と容器をしっかりとっておこなう 落としたり、強い衝撃を与えない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●破損・故障・けがの原因になります。 ◎運転中に持ち運ばない。 <p>指示に従う</p>	 <p>運転中に注ぎ口キャップをはずして調味料などを入れない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●食材がこぼれる原因になります。 <p>禁止</p>
 <p>掃除用、整髪用、殺虫剤などのスプレーを吹きつけない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●変色・変質・破損の原因になります。 <p>禁止</p>	 <p>容器、容器ホルダー、ふたを電子レンジ、オーブンレンジ、食器洗い乾燥機で使用しない 40℃以上のお湯で洗わない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●変形・破損・やけどの原因になります。 <p>禁止</p>
	 <p>お手入れには、シンナー、ベンジン、みがき粉、たわし、化学ぞうきんなどは使用しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●変色・変質・破損の原因になります。 ◎お手入れは8～9ページの「お手入れと保管」を参照する。 <p>禁止</p>

必ずお守りください

※本製品で流動食は作らないでください。モーターに負担がかかり故障の原因になります。

●下記の食材を調理するとカッターが破損するなどして、けが・故障の原因になります。

■調理禁止食材【ミキサーで調理できない食材】

- 氷
- 肉・魚類
- 固い食材……………大豆、コーヒー豆、乾物類
冷凍した食材など

※豆類や乾物類はミルで調理してください。

- 粘りけの強い食材…長芋やじねんじょなど
- 水分の少ない食材…ゆでたじゃがいもなど

※フードプロセッサーではないので、ハンバーグなどのタネ作りには、使用できません。

使いかた

※はじめてご使用になるときは、8～9ページの「お手入れと保管」を参照して各部を水洗いしてください。

ミキサーの使いかた

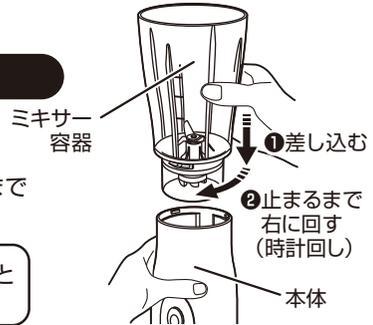
1

本体にミキサー容器を取りつける

- ①ミキサー容器を本体に差し込みます。
- ②本体を手でしっかり持ち、ミキサー容器が止まるまで右に回して(時計回し)、確実に取りつけます。

お知らせ

- ミキサー容器が本体に正しく取りつけられていないと運転ボタンを押しても運転しません。



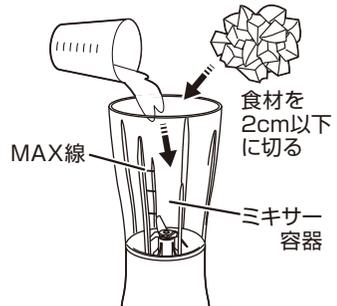
2

ミキサー容器に食材を入れ、ミキサー容器ふたと注ぎ口キャップを取りつける

- 食材を2cm以下の大きさに切ってからミキサー容器に入れ、ミキサー容器ふたと注ぎ口キャップを確実に取りつけます。

ご使用上の注意

- ※水分の多い食材を先に入れ、水分の少ない食材をあとに入れてください。
- ※食材と一緒に必ず水または牛乳を入れてください。カッターに食材がからみ、故障の原因になります。
- ※食材は400mL (MAX線) 以上入れないでください。食材があふれたり、故障の原因になります。
- ※調理禁止食材は、入れないでください。(3ページ参照)



3

電源コードの結束バンドを必ずはずし、電源プラグをコンセントに差し込む

- 電源プラグを根元まで確実にコンセントに差し込みます。

ご使用上の注意

- ※運転ボタンを押した状態で電源プラグをコンセントに差し込まないでください。急に運転して、けがの原因になります。

4

運転する

- 本体を手でしっかり支え、ミキサー容器ふたを押さえながら、運転ボタンを押して運転します。(運転ボタンを押している間だけ運転します)
- 食材の種類やお好みのでき上がり状態により、運転時間を調節します。
※運転時間や調理方法などは、7～8ページの「調理例」を参照してください。
- 食材や調味料を少しずつ入れるときは、運転を停止してふたまたは注ぎ口キャップをはずして入れます。



⚠注意



禁止

定格時間1分以上の連続運転はおこなわない
続けて運転する場合は、必ず30分以上休ませてから運転する
(1分間運転ごとに30分以上休止)

- 故障や安全装置がはたらき運転できなくなる原因になります。

使いかた

5 調理が終わったら電源プラグをコンセントから抜き、ミキサー容器を取りはずす

- 運転が完全に停止したのを確認し、電源プラグをコンセントから抜いて、下記の順序でミキサー容器を取りはずします。
- ① 本体を手でしっかり持ち、ミキサー容器を左に回します。(反時計回し)
- ② ミキサー容器を持ち上げて本体から取りはずします。

警告



容器、容器ホルダー、ふたの取りつけや取りはずし、お手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く
● けが・感電の原因になります。



ミルの使いかた

1 ミル容器に食材を入れる

ご使用上の注意

- ※ 食材は最大目盛り以上入れないでください。故障の原因になります。
- また、目盛り線は目安として食材により分量を調節してください。
- ※ 調理禁止食材は、入れないでください。(4ページ参照)

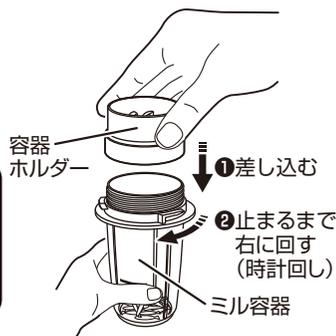


2 ミル容器に容器ホルダーを取りつける

- ① 容器ホルダーのカッター側を下にしてミル容器に差し込みます。
- ② ミル容器を手でしっかり持ち、容器ホルダーが止まるまで右に回して(時計回し)、確実に取りつめます。

ご使用上の注意

- ※ 取りつける前に容器ホルダーのパッキンの取りつけ忘れや位置ずれなどがないことを確認してください。
- ※ 確実に取り付けられていないと、食材がもれることがありますので、容器ホルダーの傾きやゆるみがないよう確実に取りつけてください。

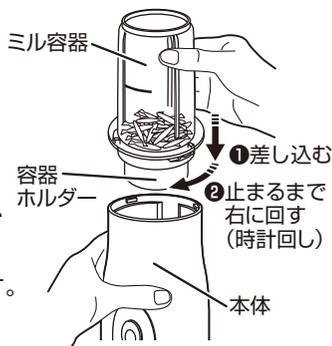


3 本体にミル容器を取りつける

- ① ミル容器を本体に差し込みます。
- ② 本体を手でしっかり持ち、ミル容器が止まるまで右に回して(時計回し)、確実に取りつめます。

お知らせ

- ミル容器が本体に正しく取り付けられていないと運転ボタンを押しても運転しません。



4 電源コードの結束バンドを必ずはずし、電源プラグをコンセントに差し込む

- 電源プラグを根元まで確実にコンセントに差し込みます。

ご使用上の注意

- ※ 運転ボタンを押した状態で電源プラグをコンセントに差し込まないでください。急に運転して、けがの原因になります。

使いかた

5 運転する

- 本体を手でしっかり持ち、運転ボタンを押して運転します。
(運転ボタンを押している間だけ運転します)
- 食材の種類やお好みのでき上がり状態により、運転時間を調節します。
※運転時間や調理方法などは、7～8ページの「調理例」を参照してください。

ご使用上の注意

※ミル容器は乾物類専用ですので、水分を含んだものは調理しないでください。

⚠ 注意



禁止

定格時間1分以上の連続運転はおこなわない
続けて運転する場合は、必ず30分以上休ませてから運転する
(1分間運転ごとに30分以上休止)

- 故障や安全装置がはたらき運転できなくなる原因になります。



6 調理が終わったら電源プラグをコンセントから抜き、ミル容器を取りはずす

- 運転が完全に停止したのを確認し、電源プラグをコンセントから抜いて、下記の順序でミル容器を取りはずします。
- ① 本体を手でしっかり持ち、ミル容器を左に回します。
(反時計回し)
- ② ミル容器を持ち上げて本体から取りはずします。

⚠ 警告



プラグを抜く

容器、容器ホルダー、ふたの取りつけや取りはずし、お手入れ
のときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く

- けが・感電の原因になります。



調理例

※運転時間は、調理する食材の状態やお好みのでき上がり状態により異なりますので目安にしてください。

■ミキサー

調理名	食 材	運転時間	作 り か た
バナナジュース	バナナ……1/2本 牛乳………120mL はちみつ……適量	約15秒	うす切りにしたバナナと牛乳、はちみつを一緒にミキサー容器に入れ、ミキサーにかける。
トマトジュース	トマト……1/2個 水 ……50mL 塩 ……適量	約15秒	2cm角に切ったトマトと水、塩を一緒にミキサー容器に入れ、ミキサーにかける。
りんごジュース	りんご……1/2個 水 ……50mL はちみつ……適量	約20秒	1cm角に切ったりんごと水、はちみつを一緒にミキサー容器に入れ、ミキサーにかける。

※運転時間どおりに運転してもうまく調理できない場合は、様子を見ながらもう一度運転してください。

※数種類の食材を入れるときは、水分の多い食材を先に入れ、水分の少ない食材をあとに入れてください。

※分量はお好みに合わせてください。

調理例

■ミル

食 材	調理状態	運転時間	調 理 例
煮 干 (2cmくらいを15g)	粉末	30~40秒	おみそ汁、おでんのだし汁、ふりかけなどに
だし昆布 (よく乾燥したもので1cm角を10g)	顆粒・粉末	50~60秒	煮物のだし汁、ふりかけなどに
干しいたけ(1cm角くらいを10g)	粉末	20~30秒	煮物のだし汁、天ぷらの衣に混ぜて
ご ま (よく炒ったもの15g)	顆粒・粉末	1~3秒	豆腐、野菜、漬物、おひたしなどにふりかけて またはあえものに混ぜて
コーヒー豆(よく炒ったもの25g)	顆粒・粉末	30~40秒	好みの濃さで運転時間を調整する
大豆 (よく炒ったもの30g) ※皮がはじけるまでよく炒ります	粉末	40~50秒	きな粉に、和菓子の材料に
食パン(1cm角程度に切ったもの15g)	粉末	3~5秒	パン粉に

- 調理したものをそのまま保存したいときは、容器ホルダーを取りはずし、ミル容器に保存用容器ふたを確実に取りつけて保存します。
※保存用容器ふたにはふりかけ口がついています。ご飯やおにぎりなどにふりかけるときにご使用ください。
ふりかけが出にくい場合は、容器を軽くたたいてふりかけてください。



調理アドバイス

■食材がミキサー容器(ミル容器)の内側に付着して調理しにくいとき

運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いて、ミキサー容器(ミル容器)を本体から取りはずし付着した食材をヘラなどを使って落としてから調理します。

■食材がカッターと容器ホルダーなどの間に挟まり調理しにくいとき

運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いて、ミキサー容器(ミル容器)を本体から取りはずし挟まっている食材をヘラなどを使って取り除いてから調理します。

食材が大きくて調理しにくい場合は、取り除いたあとに小さく切ってから調理します。

■カッターがカラ回りして調理しにくいとき(ミル使用時)

食材がミル容器の上側に付着するときは、運転を停止し電源プラグをコンセントから抜いて、ミル容器を本体から取りはずし軽く振って付着した食材を落としてから調理します。

※このとき、ミル容器がゆるまないように注意してください。

食材が跳ね上がるときは、運転ボタンを断続的に押して調理します。

—ご使用上の注意—
※無理に運転を続けると故障の原因になりますので注意してください。

お手入れと保管

お手入れや持ち運ぶときは、電源プラグをコンセントから抜いておこないます。
ミルミキサーは、食品に触れる調理器具のため、いつも清潔な状態で使用します。

※ご使用後は、必ずお手入れをおこなってください。

お手入れのときは、けがなどを防止するためゴム手袋などを着用しておこなってください。

警告



プラグを抜く

容器、容器ホルダー、ふたの取りつけや取りはずし
お手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く
●けが・感電の原因になります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
●感電の原因になります。



水ぬれ禁止

本体を水に入れたり、水をかけたり、丸洗いをしない
●故障・ショート・感電の原因になります。



接触禁止

カッターは、鋭利なので直接手で触れない
●けがの原因になります。

お手入れと保管

△ 注意



容器、容器ホルダー、ふたを電子レンジ、オーブンレンジ、食器洗い乾燥機で使用しない
40℃以上のお湯で洗わない

禁止

●変形・破損・やけどの原因になります。



掃除用、整髪用、殺虫剤などのスプレーを吹き
つけない

禁止

●変色・変質・破損の原因になります。



お手入れには、シンナー、ベンジン、みがき粉
たわし、化学ぞうきんなどは使用しない

禁止

●変色・変質・破損の原因になります。

■本体 ※丸洗いは絶対しない

- 水に浸した柔らかいふきんをよくしぼって汚れをふき取ります。
- 落ちにくい汚れは、水でうすめた食器用中性洗剤に柔らかいふきんを浸し、よくしぼってからふき取ります。
さらに乾いた柔らかいふきんで洗剤が残らないようにきれいにふき取ります。

■ミル容器、ミキサー容器ふた、注ぎ口キャップ、パッキン 保存用容器ふた ※丸洗いでできます

- 食器用中性洗剤を柔らかいスポンジに含ませて水洗いします。
- 洗剤が残らないように水で洗い流し、乾いた柔らかいふきんで水分をふき取って乾燥させます。

■ミキサー容器 ※丸洗いでできます

- 容器は、食器用中性洗剤を柔らかいスポンジに含ませて水洗いします。
- カッター部分は、食器用中性洗剤をブラシに数滴つけて水洗いします。
- 洗剤が残らないように水で洗い流し、乾燥させます。

■容器ホルダー ※丸洗いでできます

- 先の細いものを使ってパッキンを取りはずします。
- 食器用中性洗剤をブラシに数滴つけて水洗いします。
- 洗剤が残らないように水で洗い流し、乾燥させます。
※パッキンを容器ホルダーに取りつけるときは、4ページの「各部の名称」を参照して、向きに注意して取りつけてください。

■保管

- 保管の前は、必ずお手入れをします。
- お手入れしたあとよく乾燥させ、カッターに食用油をうすく塗ってから、包装ケースに納めるかポリ袋をかぶせ、直射日光や湿気を避けて保管します。
(湿ったまま保管するとカビの発生や異臭・故障の原因になります)



仕 様

	ミキサー	ミル
電 源	交流100V 50-60Hz共用	
消 費 電 力	130W	
定 格 時 間	1分間(1分間使用ごとに30分間以上休止)	
定 格 容 量	400mL	75mL
回 転 数(約)	22,300回/分	24,000回/分
製 品 寸 法(約)	直径:100mm × 高さ:295mm	直径:100mm × 高さ:240mm
製 品 質 量(約)	0.9kg	0.8kg
コ ー ド 長(約)	1.8m	
安 全 装 置	温度ヒューズ、電流ヒューズ、安全スイッチ	

●製品の仕様や外観などは、改善などのため予告なく変更する場合があります。

故障かな?と思ったら 次の点検をおこなってください。

症 状	原 因	処 置
運転しない	●電源プラグがコンセントから抜けていませんか?	●電源プラグをコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
	●ミキサー容器またはミル容器が確実に取り付けられていますか?	●ミキサー容器またはミル容器を確実に取りつけないと運転できませんので、確実に取りつけてください。
運転しているときに ●カッターの回転が遅い ●うなり音がする ●振動が大きい	●食材を入れすぎていませんか?	●食材を減らしてください。
	●食材が大きすぎませんか?	●食材を小さく切りなおしてください。
	●調理禁止食材を入れていませんか?	●3、4ページの「必ずお守りください」を参照して、調理禁止食材を取り除いてください。

点検のお願い

安全に長くご愛用いただくために、日頃から点検をおこなってください。

★こんな症状はありませんか?

- 電源コード、電源プラグが異常に熱い。
- 電源コード、電源プラグに深い傷や変形がある。
- 電源コードを動かすと通電したり、しなかつたりする。
- こげくさいにおいがする。
- 器具に触れるとピリピリと電気を感じる。
- その他の異常や故障がある。

- 電源プラグやコンセントにほこりやごみがたまっている。

★異常があれば

ご使用中止!!

故障や事故防止のため、運転を停止し電源プラグをコンセントから抜いて必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

ほこりやごみを取り除いてください。

アフターサービスについて

- この製品は保証書がついております。お買い上げの際に、販売店より必ず保証欄の「お買い上げ年月日」と「販売店印」の記入をお受けください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年です。保証期間中の修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。保証書の記載内容により修理いたします。その他詳細は保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理(有料)についてはお買い上げの販売店にご相談ください。
- この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後6年です。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。
- サービスパーツについては、お買い上げの販売店にご相談ください。

■使いかたやお手入れなどのご相談は下記へ

この製品についてのお取り扱い・お手入れ方法などのご相談、ご購入されたらご贈答品などで、販売店に修理のご相談ができない場合は、右記までご相談ください。

「山善 家電お客様サービス係」

ナビダイヤル ☎ 0570-077-078

※PHS、IP電話など一部の電話からのご利用はできません。受付時間：10：00～17：00（土・日・祝日を除く）

- FAXまたはEメールでのご相談も受け付けております。その際は商品名・品番・ご相談内容・お名前・お電話番号をご記入のうえ、ご相談ください。

●FAXでの フリーダイヤル ご相談は ☎ 0120-680-287

●Eメールでの フリーダイヤル ご相談は info_m@yamazen.co.jp

個人情報のお取り扱いについて

株式会社 山善及びその関係会社はお客様の個人情報やご相談内容をご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

※お問い合わせのときは、保証書に記載の商品名・品番をご連絡ください。

S-181023